

## THE HOGAKU RONSHU

THE LAW REVIEW  
OF  
KANSAI UNIVERSITY

MARCH 2023

VOLUME LXXII

NUMBER 6

## Articles

- Ikutarou Shimizu in the era of the Postwar  
Democracy in Japan ..... *Kanji TOKURA* (1)
- The Trend of Death Sentences in the Early Meiji Era  
(between 1868 and 1878): Based on the All Capital  
Cases in "The History of Kyoto Prefecture" (2) ..... *Kenji NAGATA* (32)
- A Study on proportion about defense measures against  
hostile takeover via the general meeting of shareholders ..... *Yoshihiro ITO* (75)
- A Study of the Communications Procedure System of the  
UN Special Procedures: A Case Study of the  
Communications by the Special Rapporteur on the  
Elimination of Discrimination against Persons  
affected by Leprosy and their Family Members ..... *Mitsuhide KIMURA* (135)

## Notes

- Political Systems Theory Revisited ..... *Tetsuo MORIMOTO* (171)
- Nature et raisonnement de la liberté d'aller et venir ..... *Hisanori MURATA* (192)
- Discussion through Comparison Survey on both  
General Incorporated Association and Specified  
Nonprofit Corporation in Hyogo ..... *Arata KOJIMA*  
*Haruya SAKAMOTO* (202)

## Translations

- "The Implementation of the Hague Convention on the  
Civil Aspects of International Child Abduction under  
Turkish Law and the Individual Application Judgments  
of the Turkish Constitutional Court related to  
International Parental Child Abduction Disputes" ..... *Yayohi SATOH* (219)
- Edisher Phutkaradze* "Die Bedeutung des Willens  
aus strafrechtlicher und kriminologischer Sicht" ..... *Rikizo KUZUHARA* (287)

## Material

- Wu Ne's Past Record and Anecdotes ..... *Haruhito SADATE* (1)

## Book Review

- Didier Caluwaerts & Min Reuchamps (eds.),  
*Belgian Exceptionalism: Belgian Politics between  
Realism and Surrealism*, London: Routledge, 2022. .... *Yumiko TSUDA* (302)

THE LAW SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY  
OSAKA, JAPAN

關西大學

## 法學論集

第72巻 第6号

令和5年3月

論説

- 清水幾太郎にとって戦後民主主義とは  
何であったのか。..... 土 倉 莞 爾 (1)
- 明治初期の死刑宣告の動向..... 永 田 憲 史 (32)
- 京都府史掲載の全死刑宣告事件を素材に—— (2)
- 株主意思確認総会を経た敵対的買収防衛策の内容の  
相当性についての整理..... 伊 藤 吉 洋 (75)
- 国連特別手続の通報手続制度に関する一考察..... 木 村 光 豪 (135)
- 「ハンセン病患者・回復者及びその家族に対する  
差別撤廃に関する特別報告者」による通報を  
手がかりとして——

研究ノート

- 政治システム論再訪..... 森 本 哲 郎 (171)
- 移動の自由の性格と弁証..... 村 田 尚 紀 (192)
- 兵庫県における一般社団法人と  
NPO 法人の実態調査からの考察 ..... 小 嶋 新 也 (202)
- 坂 本 治 也 (202)
- 鬼 本 英 太 郎

翻 訳

- 「国際的な子の奪取に関するハーグ条約の  
トルコ法における実施及び国際的な親による  
子の奪取紛争に関連するトルコ憲法裁判所判決」..... 佐 藤 や よ ひ 子 (219)
- 織 田 有 基 子 (219)
- Edisher Phutkaradze*  
「意思の刑法及び刑事政策上の意味」..... 葛 原 力 三 (287)

資 料

- 『祥刑要覧』の撰者吳訥の履歴と逸話 ..... 佐 立 治 人 (1)

書 評

- Didier Caluwaerts & Min Reuchamps (eds.),  
*Belgian Exceptionalism: Belgian Politics between  
Realism and Surrealism*, London: Routledge, 2022. .... 津 田 由 美 子 (302)
- ベルギー政治学研究書からみる研究関心の変容——

關西大學  
法學論集第七十二卷  
第六号

令和五年三月

關西大學  
法學會

關西大學法學會

関西大学法学会役員（五十音順）

会長 高作 正博	海道 俊明 梶原 晶(編集)	佐立 治人 佐伯 和也	福島 豪 藤原 稔弘
評議員 浅野 宜之 荒木 修(会計)	柄谷 利恵子 川合 昌幸	下村 正明 白須 真理子	松尾 知子 松代 剛枝
栗辻 悠 飯島 暢	川口 美貴 河村 厚	高作 正博 多治川 卓郎	水野 吉章(編集)
五十嵐 元道 池田 慎太郎	木下 智史(編集)	辰巳 直彦 田中 謙	村上 幸隆
池田 愛 石橋 章市朗(庶務)	木原 淳 金 玲	津田 由美子(編集)	村田 大樹
市原 靖久 伊藤 吉洋	権 南希 葛原 力三	角田 猛之(会計)	村田 尚紀
今西 康人 上田 真二	久保 宏之(会計)	寺川 永 中島 洋樹	元氏 成保
植村 新(編集)	隈元 利佳 小石川 裕介	永田 憲史 中野 徹也	百木 漠(会計)
浦東 久男 占部 洋之(編集)	小泉 良幸(監査)	中村 知里 西平 平等(会計)	森 宏司(編集)
大住 洋 大津留 智恵子(編集)	小西 秀樹 近藤 剛史	西澤 希久男(庶務)	森田 崇雄
岡本 哲和 尾島 史賢	今野 正規 酒井 一	西山 真司 原 弘明	森本 哲郎
小野 憲一(庶務)	坂本 治也(庶務)	馬場 圭太(会計)	安武 真隆(庶務)
	佐川 友佳子 笹本 幸祐(庶務)	早川 徹(会計)	山名 京子
		廣川 嘉裕	山名 美加
			山中 友理
			横田 直和
			吉沢 晃
			吉田 栄司
			吉田 直弘(庶務)
			若月 剛史

前号目次（第72巻第5号）

論 説

パスカル・ペリノーのポピュリズム論：覚え書き……………	土 倉 莞 爾
幣原喜重郎と戦争放棄条項……………	寺 島 俊 穂
EU新証拠規則（2020年）の基本的枠組み……………	春 日 偉 知 郎
文部科学省策定「いじめの重大事態の調査に関する ガイドライン」の逐条解説（11・完）……………	永 田 憲 史

国際人権法の国際的実施における 「ハンセン病患者・回復者及びその家族に対する 差別撤廃のための原則及びガイドライン」の影響……………	木 村 光 豪
--	---------

研究ノート

呉訥撰『祥刑要覧』所載『棠陰比事』について……………	佐 立 治 人
----------------------------	---------

翻 訳

ビンディングの刑法理論（3）……………	飯 島 暢 川 口 浩 一
---------------------	------------------

書 評

林健太郎著 『所得保障法制成立史論——イギリスにおける 「生活保障システム」の形成と法の役割——』……………	福 島 豪 (信山社, 2022年)
--	-----------------------

関西大学法学会規則

- 第1条 本会は、関西大学法学会と称する。
- 第2条 本会は、法学の研究を促進し、かつ研究の成果を発表することを目的とする。
- 第3条 本会は、次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の発行。
  - 2 その他本会の目的を達成するために必要な事項。
- 第4条 本会は、大阪府吹田市山手町3-3-35に置く。
- 第5条 本会は、次の者をもって会員とする。
- 1 法学部及び大学院法務研究科（以下法科大学院と称す）の教授、准教授、助教、特別契約教授。
  - 2 政策創造学部の教授、准教授、助教、特別契約教授であって入会した者。
  - 3 法学部、大学院法学研究科、法科大学院、政策創造学部またはガバナンス研究科の非常勤講師であって入会した者。
  - 4 法学部学生、大学院法学研究科学生及び法科大学院学生。
  - 5 政策創造学部の学生であって入会した者。
  - 6 法学部、政策創造学部、大学院法学研究科及び法科大学院の卒業生であって入会した者。
  - 7 その他評議員会の承認を得た者。
- 第6条 次の者を本会の名誉会員とする。
- 1 法学部又は法科大学院に在籍した名誉教授。ただし、特別契約教授として在職中の者は除く。
  - 2 特に評議員会の承認を得た者。
- 第7条 本会に次の役員を置く。
- 1 会長 法学部長をもって充てる。
  - 2 評議員 教授、准教授、助教及び特別契約教授をもって充てる。
  - 3 編集・庶務・会計各委員 評議員の中から評議員会において委嘱する。その任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 第8条 第5条第1号及び2号の会員は会費年額12,000円を、同条第3号から7号までの会員は会費年額4,500円を納めることを要する。
- 第8条の2 会計年度は、毎年4月1日から3月31日までとする。
- 第9条 会員及び名誉会員は、機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の配布を受ける。
- 第10条 この規則の改正は、評議員会の決議による。
- 付則 この改正規則は、2019年7月10日から施行する。

2023年2月22日 印刷

関西大学 第72巻

2023年3月1日 発行

法学論集 第6号

編集兼  
発行人

関 西 大 学 法 学 会  
振替 00910-4-66882

印刷所

(株)富山房インターナショナル  
東京都文京区千石2-25-11

発行所

関 西 大 学 法 学 会  
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号  
関西大学法学部内



本号は関西大学からの一部補助により刊行されている。

(©関西大学法学会 2023)